

日本取引所グループ：「四半期開示の見直しに関する実務の方針」の公表

『会計情報』編集部

日本取引所グループ (JPX) は、2023年11月21日「四半期開示の見直しに関する実務の方針」を公表した。

2022年6月及び12月に公表された金融審議会ディスクロージャーワーキング・グループ報告（以下「DWG報告」という。）において、金融商品取引法上の四半期報告書（第1・第3四半期）を廃止し、取引所規則に基づく四半期決算短信に「一本化」する方向性が示されるとともに、「一本化」の具体化における各論点の方向性が示された。

JPXでは、2023年6月に「四半期開示の見直しに関する実務検討会」（以下「実務検討会」という。）を設置し、DWG報告で示された「一本化」の具体

的な方向性に沿った実務の実現に向けて検討を重ね、実務検討会における検討を踏まえ、「四半期開示の見直しに関する実務の方針」の取りまとめが行われ、公表された。

具体的な制度改革にあたっては、今後、制度要綱を公表のうえ、パブリック・コメント手続きを実施する予定であり、公表が行われるとされている。

詳細については以下のウェブページを参照いただきたい。

[「四半期開示の見直しに関する実務の方針」の公表について | 日本取引所グループ \(jpx.co.jp\)](#)

以 上